コースNo. 26

中小企業大学校

東京校

組織マネジメント

メンバーそれぞれが活躍する職場
信頼でつながり助け合う職場づくり講座

研修のねらい

多様な人材が活躍し組織の成果を発揮するためには、職場やチームでお互いに助け合える土壌を醸成していることが重要です。メンバーが信頼関係でつながり、一人で抱え込まずに円滑に業務を進められるチームこそ、それぞれの人材が活躍できる職場と言えるでしょう。

本研修では、人材の多様性を活かした職場のメリットを学んだうえで、メンバー一人ひとりが活躍できる職場を作っていく具体的な手法について学びます。

研修のポイント

- ☑ お互いに信頼関係を構築するポイントを学びます
- ☑ 多様な人材が活躍できる職場づくりのポイントを学びます
- ☑ 予期せぬ事態にチームで対応するためのチームワークづくりを学びます

◆本コースでの学習と併せて、下記コースをご活用ください。

- 「No.27 チームで成果をあげるマネジメント術」2026年1月14日（水曜）～1月16日（金曜）〈3日間〉
- 「No.29 自身と職場で取り組むメンタルヘルス入門講座」2025年7月24日（木曜）～7月25日（金曜）〈2日間〉

研修期間

2025年
12/2(火)-12/3(水)
〈2日間〉

対象者

管理者、新任管理者、管理者候補

- 上司や部下と良好な信頼関係を構築したい方
- 職場やチームの風通しを良くしたい方
- いざという時に、お互いが助け合えるチームを作りたい方

定員 30名

受講料 22,000円（税込）

会場

中小企業大学校 東京校

東京都東大和市桜が丘2-137-5

月日	時間	科目	内容
12/2(火)	9:20-9:40	オリエンテーション	
	9:40-10:40	多様な人材と共に働くということ	**多様な人材と共に働くための考え方を理解します。** ・個人と組織を取り巻く環境の変遷 ・時代の変化による組織の変化・働き方の変化 ・助け合う職場を推進することもSDGs17のゴールのひとつ ・多様性を認め合う「ダイバーシティ&インクルージョン」の効果 ・目的は、「仕事を円滑にすすめ、成果を出すこと」
	10:40-12:20	アンコンシャス・バイアスを越えていくために	**アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）を乗り越え、働きやすい職場作りを実現するためのポイントを学びます。** ・アンコンシャス・バイアスとは何か ・日常のアンコンシャス・バイアス ・組織・職場における「決めつけ」「思い込み」のリスク ・多様な人材が活躍するために必要な考え方 ・平等とは何か・公平とは何か ・自己肯定感・自己効力感の大切さ
	13:20-16:40	言いたいことを上手に伝えるアサーティブ・コミュニケーション	**言いたいことを上手に伝えるアサーティブ・コミュニケーションの理論について、考え方と実践をとおして身につけます。** ・説得と納得の違いを理解する　・ものの見方・考え方 ・上手に自分の考えや気持ちを伝える ・怒りへの対処・否定的な相手との対話の仕方 ・共感・同感・同情の違い ・ケーススタディを用いたコミュニケーション演習
12/3(水)	9:20-11:20	相互理解の実現に向けて心理的安全性／自己開示	**心理的安全性を高めながら、メンバーとの関係づくりに必要な方法を理解します。** ・ジョハリの窓：お互いのことを知ることの大切さ ・心理的安全性の高め方 ・多様な人材とともに働く際に有効な考え方のポイント ・自己開示の大切さ、自己開示できる関係づくり・環境づくり ・ロールプレイによる演習
	11:20-14:50（昼休 12:20～13:20）	チームワークを高める	**組織が組織として機能するために何が必要か、演習をとおして学びます。** ・組織力とは：ゲームを通じて理解する ・組織の成立要件、組織の成功循環モデル ・チームづくり（マネジメントのポイント、リスクの予測等） ・業務を見える化する、情報共有を促進させる
	14:50-16:20	風通しが良く、働きやすい会社にするために	**働きやすい職場・働きがいのある職場づくりのために何をすべきかを考えます。** ・研修の振り返り ・「業務上もっとこうだったらよいと思うこと」、「相談したいこと」等をディスカッション ・研修を踏まえて、自社で取り組みたいことを共有する
	16:20-16:30	修了証書の授与	

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。
※研修初日終了後から交流会を開催する予定です。

講師紹介（敬称略）

株式会社平井彩子事務所　代表取締役

平井　彩子（ひらい　さいこ）

システム開発、コンサルティング会社を経て2012年に独立。人事評価制度の構築・運用、業務の改善を通じた組織活性化を主軸に活動。最近は、働き方改革、ダイバーシティ推進に向けた活動も多く、小手先の業務改善ではなく、従業員と経営者の意識改革をもって、企業が自走できる仕組みづくりから組織支援を実施。
研修やセミナーは年間平均100日登壇し、個人と組織の成長を支援。中小企業診断士。

Be a Great Small. 中小機構
独立行政法人 中小企業基盤整備機構
中小企業大学校 東京校

こんなところ！ 東京校

受講風景や研修の様子はこちらからご覧頂けます。
＼事前確認で、安心して受講できる！／ facebook

申込方法

中小企業者の方であればどなたでも受講できます。
インターネットにてお申込ください。

※中小企業の定義は HP 等でご確認いただくか、当校までお問合せください。
　士業・経営コンサルタント等の方はお断りさせていただく場合がございます。
※応募者多数のためキャンセル待ちとなる場合がございますので、お早めにお申し込みください。
　応募状況は、HP でもご確認いただけます。

お申込み・お問い合わせ先

中小企業大学校東京校　企業研修課

〒207-8515　東京都東大和市桜が丘 2-137-5

URL　https://www.smrj.go.jp/institute/tokyo ※インターネットからお申し込みができます。

TEL　042-565-1207　E-mail　to-kenshu@smrj.go.jp

受講決定と受講料の納入

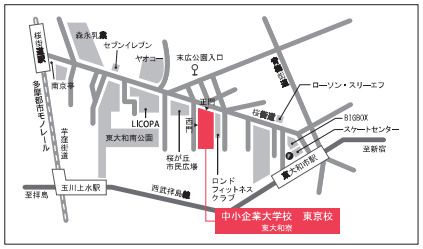
受入決定後、開講日の約 1.5 ヶ月前頃から貴社の連絡担当者様あてに「受講決定通知兼振込依頼書」等を送付いたします。受講料は指定日までにお振り込みください。（恐れ入りますが、振込手数料は貴社でご負担ください）。

※納入後の受講料は、キャンセルされた場合にも一部または全額を申し受けますので予めご了承ください。
※より多くの企業の皆様が受講できるよう、原則として 1 コースあたり 1 社 2 名様までのお申し込みといたします（2 名を超える場合はキャンセル待ち扱いといたします）。

宿泊施設

寮費：2,700 円／1 泊（税込）※寮費は変更になる場合があります。
また、校内に食堂を併設しています。

中小企業大学校東京校　交通アクセス



JR山手線　高田馬場駅から／西武拝島線拝島方面行き　東大和市駅下車　徒歩10分
JR中央線　国分寺駅から／西武国分寺線小川駅乗り換え、西武拝島線拝島方面行き
　東大和市駅下車　徒歩10分
JR中央線　立川駅から／多摩都市モノレール　玉川上水駅下車　徒歩15分
　多摩都市モノレール　桜街道駅下車　徒歩15分
※西武線をご利用される場合、拝島線直通の急行または準急のご利用が便利です。
※受講生用の駐車・駐輪設備がございません。受講にあたっては電車・バス等の公共交通機関でお越しください。

インターネットによるお申込み方法

1 ホームページにアクセス

受講したい研修が決まったら、中小企業大学校のホームページにアクセス。
【東京校ホームページ】
https://www.smrj.go.jp/institute/tokyo/index.html

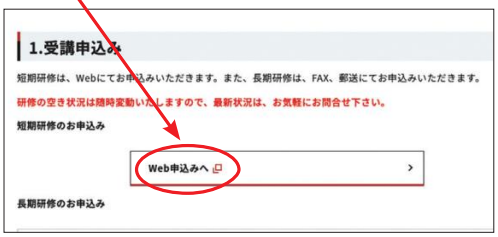
中小企業大学校　東京校　検索　※PC での申込みが便利です。

2 受講申込み

東京校トップページ下部「申込みから受講までの流れへ」をクリックします。

3 Web 申込み

「Web 申込みへ」をクリック。 ※研修詳細ページからも申込みできます。



ご希望の研修コースをプルダウンしてお選びください。

以下必要事項をご記入ください。

4 確認画面 ▶ 申込み実行

申し込み画面に必要事項を入力後「確認画面へ」をクリックします。

内容が正しければ、「申込み実行」 をクリック。

申込完了後東京校から確認メールが送付されます。

※確認メールが届かない場合や確認メールの内容が異なる場合は、お手数ですが東京校までご連絡ください。

次回からのお申込みが簡単に！

Web 企業 ID を登録がおすすめ！

Web 企業 ID を登録することで、次回からのお申込みがより簡単に！ぜひ、この機会にご登録ください。

登録方法

受講申込みのページ「事務連絡担当者」欄にある「Web 企業 ID の登録」で「可」を選択してください。

- 初回お申込み完了後、ご登録の e-mail アドレス宛に「お申込み受付の確認メール」が送信されます。
- 内容に従い、必ず Web 企業 ID のパスワード設定をお願いします。
- 次回以降は「Web 企業 ID を登録」欄に ID と設定したパスワードを入力しログインしていただくと企業情報などが自動で入力されるほか、過去の申込履歴をご覧いただけます。

No.26

コース名	**信頼でつながり助け合う職場づくり講座** メンバーそれぞれが活躍する職場				
研修のねらい	多様な人材が活躍し組織の成果を発揮するためには、職場やチームでお互いに助け合える土壌を醸成していることが重要です。メンバーが信頼関係でつながり、一人で抱え込まずに円滑に業務を進められるチームこそ、それぞれの人材が活躍できる職場と言えるでしょう。本研修では、人材の多様性を活かした職場のメリットを学んだうえで、メンバー一人ひとりが活躍できる職場を作っていく具体的な手法について学びます。				
研修の特長	・お互いに信頼関係を構築するポイントを学びます ・多様な人材が活躍できる職場づくりのポイントを学びます ・予期せぬ事態にチームで対応するためのチームワークづくりを学びます ◆本コースでの学習と併せて、下記コースをご活用ください。 ・「No.22 人と組織を動かすコミュニケーション講座」 2025年6月3日（火曜）～ 6月5日（木曜）〈3日間〉 ・「No.17 トップセミナー1 ビジネス心理学を活用した会社づくり【港区虎ノ門】」 2025年6月5日（木曜）〈1日間〉 ・「No.29 自身と職場で取り組むメンタルヘルス入門講座」 2025年7月24日（木曜）～ 7月25日（金曜）〈2日間〉				
研修期間	2025年12月2日（火曜）～ 12月3日（水曜）〈2日間〉				
対象者	管理者、新任管理者、管理者候補 ・上司や部下と良好な信頼関係を構築したい方 ・職場やチームの風通しを良くしたい方 ・いざという時に、お互いが助け合えるチームを作りたい方	**定員**	30 名	**受講料**	22,000 円

日付	時間	科目	内容	講師
12/2 (火)	9時20分～9時40分	**オリエンテーション**		中小企業大学校担当職員
	9時40分～10時40分	**多様な人材と共に働くということ**	多様な人材と共に働くための考え方を理解します。 ・個人と組織を取り巻く環境の変遷 ・時代の変化による組織の変化・働き方の変化 ・助け合う職場を推進することもSDGs17のゴールのひとつ ・多様性を認め合う「ダイバーシティ＆インクルージョン」の効果 ・目的は、「仕事を円滑にすすめ、成果を出すこと」	平井 彩子 株式会社平井彩子事務所 代表取締役
	10時40分～12時20分	**アンコンシャス・バイアスを越えていくために**	アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）を乗り越え、働きやすい職場を作りを実現するためのポイントを学びます。 ・アンコンシャス・バイアスとは何か ・日常のアンコンシャス・バイアス ・組織・職場における「決めつけ」「思い込み」のリスク ・多様な人材が活躍するために必要な考え方 ・平等とは何か・公平とは何か ・自己肯定感・自己効力感の大切さ	
	13時20分～16時40分	**言いたいことを上手に伝える アサーティブ・コミュニケーション**	■言いたいことを上手に伝えるアサーティブ・コミュニケーションの理論について、考え方と実践をとおして身につけます。 ・説得と納得の違いを理解する ・ものの見方・考え方 ・上手に自分の考えや気持ちを伝える ・怒りへの対処・否定的な相手との対話の仕方 ・共感・同感・同情の違い ・ケーススタディを用いたコミュニケーション演習	
12/3 (水)	9時20分～11時20分	**相互理解の実現に向けて 心理的安全性/自己開示**	■心理的安全性を高めながら、メンバーとの関係づくりに必要な方法を理解します。 ・ジョハリの窓：お互いのことを知ることの大切さ ・心理的安全性の高め方 ・多様な人材とともに働く際に有効な考え方のポイント ・自己開示の大切さ、自己開示できる関係づくり・環境づくり ・ロールプレイによる演習	
	11時20分～14時50分 （昼休 12時20分 ～13時20分）	**チームワークを高める**	■組織が組織として機能するために何が必要か、演習をとおして学びます。 ・組織力とは：ゲームを通じて理解する ・組織の成立要件、組織の成功循環モデル ・チームづくり（マネジメントのポイント、リスクの予測等） ・業務を見える化する、情報共有を促進させる	
	14時50分～16時20分	**風通しが良く、働きやすい会社にするために**	■働きやすい職場・働きがいのある職場づくりのために何をすべきかを考えます。 ・研修の振り返り ・「業務上もっとこうだったらよいと思うこと」、「相談したいこと」等をディスカッション ・研修を踏まえて、自社で取り組みたいことを共有する	
	16時20分～16時30分	**修了証書の授与**		中小企業大学校担当職員

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師氏名	略歴
平井 彩子 （ひらい さいこ） 株式会社平井彩子事務所 代表取締役	システム開発、コンサルティング会社を経て2012年に独立。人事評価制度の構築・運用、業務の改善を通じた組織活性化を主軸に活動。最近は、働き方改革、ダイバーシティ推進に向けた活動も多く、小手先の業務改善ではなく、従業員と経営者の意識改革をもって、企業が自走できる仕組みづくりから組織支援を実施。 研修やセミナーは年間平均100日登壇し、個人と組織の成長を支援。中小企業診断士。